

(1)事業の概要等

事業番号	B1502
実施計画事業	○
実施計画事業以外の事業	

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	子ども会活動支援事業					担当部			こども未来部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和6年度以降		担当課			多世代交流プラザ			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	15	展開方向	2	担当係			事業推進係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	3	目	1	大	4	中	1
	根拠法令・個別計画	小牧市子ども会活動促進連絡会議設置要綱 小牧市子ども会活動支援補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	子ども会は、住んでいる地域に一番密着した組織で、異年齢の子どもたちが様々な活動や遊びを通じて、自主性や社会性を育む貴重な場であるため、子ども会の活動を促進する。 ※令和2年度末に小牧市子ども会連絡協議会(以降、市子連という。)が解散したことに伴い、事業内容を見直し。										
	対象 (何・誰を対象に)	市内の単位子ども会										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>●令和3年度実施内容</p> <p>《直接経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会活動支援補助金・・・1,211千円 行事用バスの借上げ・・・161千円 講師の派遣・・・50千円 その他 <p>【こまきこども未来館】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽スタジオ、ダンススタジオ・・・無料 デジタルラボ・ネット遊具・・・一定時間専用利用が可能 <p>【まなび創造館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ギャラリー・多目的室・研修室・・・無料 <p>※令和3年度は、コロナの感染拡大に伴い、多くの子ども会が活動の自粛又は縮小となった</p> <p>●令和4年度</p> <p>《直接経費》</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども会活動支援補助金・・・1,921千円 行事用バスの借上げ・・・10,937千円(旧市子連寄付金充当) 講師の派遣・・・420千円 										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	2,496	2,368
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	2,496	2,368	1,277	1,501	
			対前年比	%	—	△ 5	△ 46	17	
			予算額	千円	2,966	2,776	2,747	3,367	13,278
	人件費		正規職員	人	0.4	0.4	0.4	0.7	
			正規職員(平均賃金)	千円	2,994	2,994	2,994	5,240	
			その他職員	人					
			その他職員(時給×時間)	千円					
			計(B)	千円	2,994	2,994	2,994	5,240	
	事業費合計(C=A+B)		千円	5,490	5,362	4,271	6,741		

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	15	展開方向		2
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	市子ども会連絡協議会に加入している子ども会の数	団体	↗	36	35	35	—
2							
3							

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	子ども会活動促進連絡会議加入団体数	団体	目標	—	—	—	75	75
				実績	—	—	—	68	
				目標					
				実績					
	活動指標	補助金申請団体数	団体	目標	—	—	—	75	75
				実績	—	—	—	47	
		こまきこども未来館等利用団体数	団体	目標	—	—	—	—	—
				実績	—	—	—	4	
	単事業あたり	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
受益者あたり事業費(=C/a)		円	—	—	—	—			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>令和2年度末に市子連が解散し、令和3年度より市子連に加入していなかった単位子ども会も含め、市が直接子ども会活動を支援することとして、小牧市子ども会活動促進連絡会議を立ち上げた。</p> <p>しかしながら、コロナの感染拡大により、多くの子ども会が活動の縮小又は自粛となったため、各種支援策の活用が進まなかった。</p>					
	今後の実施内容	<p>コロナの状況を注視しながら、支援策の活用について働きかけを行い、すべての子ども会の加入を目指していく。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	